2024 年度　長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	新潟の歴史（History of Niigata） 2013-0-13-051					担当教員	遠山　典子 （トオヤマ　ノリコ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	１年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目/知識定着・確認型ＡＬ/課題解決型ＡＬ/外部講師招聘科目								

①　授業のねらい・概要
本講義では新潟県の歴史を学ぶが、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、県内の風土や産業、人物、伝説などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、パワーポイントでの画像や、時にはビデオの視聴などを取り入れながら授業を進める。また、単に講義を受講するだけでなく、自ら主体的に学ぶための学習課題を設定する。身近な歴史・生活文化を考察するために、自己の出身地や生育歴に関するものも取りいれている。さらに、県内外の博物館、資料館、史跡などへ学生が直接足を運び、レポートを提出するフィールドワークの課題も設定している。 単位修得レポートは、各個人の興味・関心にもとづいた地域探訪の計画・事前資料の作成および実施・報告（発表・レポート提出）であり、自己評価も行う。また、特色ある外部講師の講義も設定している。
②　ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／情報収集・分析力/専門的知識・技能を活用する能力
③　授業の進め方・指示事項
基本的には、配布資料とパワーポイント等により解説する講義形式である。授業はあくまでも、学生の主体的な学びの導入であり、そこから興味を持ったテーマに関する学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位修得レポートを中心に行う。
④　関連科目・履修しておくべき科目
他の地域志向科目と関連しているので、併修が望ましい。
⑤　テキスト（教科書）
特にもうけない。各回、資料・レジュメ等を配布する。
⑥　参考図書・指定図書
田中圭一他『新潟県の歴史（県史１５）』山川出版社（２０１７） 『図説 新潟県の歴史（図説 日本の歴史１５）』河出書房新社（１９９８） 『図説 長岡開府四百年』株式会社 いき出版（２０１８） 『新・にいがた歴史紀行（全１２巻）』新潟日報事業社(２００４）
⑦　評価Ａに対応する具体的な学習到達目標の目安

（ⅰ）講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。
（ⅱ）興味を持った人物や事象について、課題として調べまとめる。
（ⅲ）自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行って見学・体験し、良かった点や問題点などをあげ報告（発表・提出）し自己評価する。

⑧　ルーブリック

評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
（ⅰ）学生が、講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいる。	学生が、授業内容に関する自己の見解や感想などにもとづいて、関連文献や歴史事象を調べる。	学生が、授業内容や資料を理解し、そのことに関して、自己の見解・感想を文章などで表現できる。	学生が、授業内容や資料を読んで、理解できる。	学生が、授業に出席して、教員の支援を受けて、授業や資料等の内容を理解できる。	学生が、授業には出席しているが、教員の支援を受けても、授業や資料等の内容は理解できない。
（ⅱ）学生が、自己の興味にもとづいて人物や事象について調べ課題としてまとめる。	学生が、課題のテーマを設定し、指定された内容を調べまとめるだけでなく、さらに関連する事象などを調べた優れた課題を提出する	学生が、課題のテーマを設定し、指定された内容をきちんと調べまとめた課題を提出できる。	学生が、課題のテーマを設定して調べ、課題を提出できる。提出内容はやや不十分である。	学生が、課題の内容を理解しテーマも設定できるが、調べたことを課題として提出できない。	学生が、教員の支援を受けても課題の内容が理解できず、テーマも設定できない。
（ⅲ）学生が、自己のテーマに基づいた見学コースを作成・実施する。また、良かった点や問題点などを報告（発表・レポート提出）し自己評価する。	学生が、自己の問題意識にもとづいた見学コースを作成・実施す る。報告や自己 評価により、これからの学業や研究への展望を示すことができる。	学生が、自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめ、適切な報告や自己評価ができる。	学生が、自己のテーマにもとづいた見学コースを作成・実施し、レポートとしてまとめられるが、報告や自己評価が不十分である。	学生が、教員の支援を受けて、見学コースを作成することができ、実施するが、レポートとしてまとめられない。	学生が、教員の支援を受けて、見学コースを作成するが、実施しない（できない）。

⑨　学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%		35%	10%	10%		100%
（ⅰ）主体的に学んでいる。					10%		10%

(ⅱ)課題を調べまとめる。	10%		35%				45%
(ⅲ)見学コースの作成と実施。(単位修得レポート)	35%			10%			45%
フィードバックの方法	課題は個々にコメントして返却。次回授業の際に全体像を学生に示す。 単位修得レポート（案）は発表の際、講評する。						

⑩　担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
この授業は新潟県の歴史について学ぶが、教室だけの講義にとどまらず、個々の興味・関心に基づいて、積極的に地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などに出かけたり、自分史を掘り起こしたりして、自らの体験に基づいた歴史を学んでほしい。なお、各回の学習課題や単位修得レポートの提出などかなりハードな学習が予想されるので、安易な気持ちではなく、しっかりとした覚悟を持って選択してほしい。皆さんの課題やレポートを読むのが楽しみである。(歴史オタク歓迎)

⑪　授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	新潟県の風土 （地理・特産物・伝統産業・食文化等）	自己の出身地の風土についてまとめる。	120 分
2	火焔土器のクニ（新潟の縄文時代）	自分の出身地もしくは興味を持った縄文時代の博物館・資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	480 分
3	コシのクニの成立と渟足柵・岩船柵 （越後国・佐渡国のはじまり）	古代の越後国・佐渡国の成立過程とその性格についてまとめる。	120 分
4	城の山古墳から江上館まで （県北の遺跡―古代から中世へ―）	自分の出身地（興味をもった土地）の地名の由来や歴史をまとめる。	240 分
5	越後の鬼伝説　―悲しき鬼たち―	自分の故郷の（興味をもった）伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	240 分
6	中世の越後と上杉氏 ―上杉謙信と河田長親―	興味をもった中世越後の人物や史跡、様々なエピソードなどについて調べる。	240 分
7	江戸時代の越後 ―長岡藩を中心に―	自分の出身地や、興味を持った藩や地域について調べ、その感想をまとめる。	240 分
8	「雪ありて縮あり」 ―『北越雪譜』の世界―	県内外の興味を持った伝統産業や文化人を取り上げ、調べる。	240 分
9	◆越後・佐渡の伝統文化 ―伝統文化の体験授業― ※通常の講義（江戸時代の越佐の文化・学問）に変更する場合もある。	外部講師による伝統文化の体験の感想及び課題をまとめる。	180 分
10	長岡藩と河井継之助（北越戊辰戦争） ―小説『峠』と史実―	自分の出身地や興味をもった地域や人物について幕末から明治維新期の歴史や生涯について調べる。	240 分

11	「米百俵」と長岡の人材教育 単位修得レポートの説明	自分が学んだ小（中）学校の創立と歴史を調べ、まとめる。	360 分
12	◆三島億二郎とランプ会 ―長岡の復興と近代化に尽くした人々―	外部講師の講演を聞き、感想をまとめる。	120 分
13	東山油田と令終会・悠久山公園	長岡もしくは自分の出身地もしくは興味のある地域で、近代化や地域に貢献した先人を調べる	240 分
14	長岡空襲と花火 ―長岡空襲に関するビデオ上映―	ビデオを見ての感想をまとめる。（受講者数が多い場合は単位修得レポートの発表にする。その際は授業内容の資料を配布する。）	120 分
15	単位修得レポート（案）の発表。	単位修得レポート（案）を発表する。講評をふまえて単位修得レポートと自己評価は後日提出。	120 分

⑫　アクティブラーニングについて
・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL／課題解決型 AL を行う。 ・単位修得レポートでは、地域探訪コースの作成および実施による課題解決型 AL を行う。 ・単位修得レポート及び第２講義の課題では、実際に博物館・資料館・史跡等を訪れる課題探求やフィールドワークによる課題解決型 AL を行う。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬　実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
高等学校の日本史教員および歴史博物館や資料館の研究員・学芸員として新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動をしてきた。関連の著作もいくつかあり、講演・講座等の活動も行っている。また、歴史研究会に所属し、地元の歴史の掘り起こしや様々な活動に携わっている。
実務経験と授業科目との関連性
新潟県を中心とした地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業を構成することに取り組みたい。また、河井継之助、小林虎三郎、三島億二郎などの長岡の偉人の業績や、長岡大学周辺の悠久山をはじめとした地元の歴史も学生に紹介したい。学生それぞれの興味や関心にもとづいて、身近な歴史を調べる面白さも伝えたい。